令和４年度　特別養護老人ホーム鑑石園　事業報告書

１．事業運営の概況

令和 4 年度事業計画に基づき、介護力向上に向けて取組みを実施した他、虐待防止や身体拘束廃止など施設入居者の生活環境の改善も積極的に行った。

企画調整会議や各階のミーティングで毎月の稼働率を発表し、満床維持について職員の意識改革と周知を図ってきたが、令和４年７月から８月にかけて、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、入院者の増加および新規入居が困難となり、目標稼働率の達成には至らなかった。

各種委員会においては、各々の担当分野からの視点で、業務改善に向けた方策を検討、試行する等、より良い介護サービスを提供するための取組みを行ったが、介護職員による利用者様への虐待事案が発生してしまった。

非常災害対策として、初期消火・避難誘導・AED 研修の防災訓練を実施すると共に、防災設備の使い方を職員に周知した。

２．事業計画実施状況

（1）介護力の向上に向けた取組み

① 転倒転落事故について前年より減少させるべく取り組み、入居者の介護度は上昇しているが、前年より９件減少させることができた。
（令和３年度 40 件、令和４年度 31 件）

② 日常的にうめぼし体操や口腔体操、利用者の状態に合わせた個別機能訓練を行い、入居者の残存機能の維持に努めた。

（2）虐待防止と身体拘束廃止への取組み

① 入居者に対する虐待や身体拘束につながる不適切ケアについて、食事、身だしなみ、入浴について事例検討を繰り返し実施し、不適切ケアの改善を図ったが、介護職員による虐待事案が１件発生してしまった。。

② 入居時に、家族に対して身体拘束をしないことにより発生するリスクについて説明し、理解を得た。

③ 新型コロナウイルス感染予防の観点から、全職員を対象とした内部研修ではなく、各部署で行う少人数の研修と、各自スマートフォンにて動画視聴研修を実施し、高齢者虐待防止及び身体拘束防止の観点から、入居者の安全や健康を維持するために職員が注意すべき点について、再認識する機会を設けた。また、始

業前に職員心構えを唱和し意識向上に努めた。

（3） 稼働率の向上に向けた取組み

① 稼働率 98.5%を目標に取組んできたが、令和 4 年 7 月から 8 月にかけて、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、入院者の増加および新規入居が困難となり、令和 4 年度の稼働率は 94.8%と前年度を下回ってしまい、目標達成には至らなかった

② 積極的な医療行為を希望されない場合には、こまめに連絡してコミュニケーションを図り、家族の同意を得て、施設での看取りを行った。

③ 入居者の健康状態の把握に努め、治療が必要な方には早めに受診を促し、入院期間が長期にならないよう配慮した。

④ 入居者の各種情報を効率よく活用するため、入居者台帳管理システムに全て移行した。その情報を活用し、令和 4 年 6 月より科学的介護推進体制加算Ⅰを算定することができた。

（4） 非常災害対策

① 事業継続計画（BCP）の見直しを行い、役割分担の再検討を行った。

② BCPの見直しに合わせて備蓄品の見直しと購入を行った。非常食は入居者と職員数の7日分を確保している。

③ 例年同様、毎月防災訓練を行った。ただし、7 月および 8 月については新型コロナウイルス感染症クラスター発生のため防災訓練は中止とした。

	令和4年度　防災訓練実施内容
4月	防災設備講習、新人職員防災訓練
5月	火災想定　通報訓練、初期消火、避難誘導訓練
6月	消火器を使用した初期消火訓練
7月	新型コロナウイルス感染症クラスター発生のため未実施
8月	新型コロナウイルス感染症クラスター発生のため未実施
9月	総合防災訓練
10 月	緊急時応急手当、応急処置訓練福祉
11 月	地震想定　通報訓練、初期消火、避難誘導訓練
12 月	災害時事業継続訓練
1月	AED 講習
2月	炊き出し訓練
3月	非常呼集訓練

（5） コスト削減

① オムツの使用量を削減するために、入居者の使用するおむつとパッドを個別に見直し、適切なオムツを正しく使用することで無駄をなくした。

② 電気の基本料金を抑制するため、デマンド値を意識して、各部署で時間差を設けて電化製品を稼働するよう努めた。また、エアコンのフィルターをこまめに清掃するよう心掛けた。

③ 節電を意識しすぎて快適性が損なわれないよう、室温に合わせて入居者の衣類・寝具等を整えて対応するよう努めた。

（6） 仕事のしやすい職場環境づくり

① 始業時、終業時、休憩時など職員同士で挨拶や声掛けを積極的に行うようにし、コミュニケーションを図った。

② 上下間の意思疎通を図るため、年2回上司と部下によるヒアリングを行った。

③ 担当者会議及び各階のミーティングでは、職員が意見を出しやすいよう働きかけた。また、勤務形態により出席できない職員には、事前に意見を聴取した。

④ 入居者台帳管理システムを活用し、入居者のケアプランや記録類等を各部署で確認できるようにした。また、手書きの記録類を一部、入居者台帳管理システムに移行し効率化を図った。

（7） 各部署での取組み

① 生活相談員・介護支援専門員

・ 新規入居の際は、事前に生活相談員、介護支援専門員、看護師によりアセスメントを実施し、入居者本人と家族のニーズを把握しスムーズに施設生活を送れるように努めた

・ 個々の入居者について適時に再アセスメントを実施し、ヒヤリハット、事故報告書等の事例から課題を探り、サービス内容に反映させて事故防止に努めた。

・ 各入居者の介護保険認定更新時期に合わせ、介護支援専門員・看護師・管理栄養士・介護職員が出席してカンファレンスを行い、ケアプランを作成した。内容については、身体状況に応じて重点項目を見直し、継続的な支援が実施できるよう心掛けた。

・ 入所申込みに来られた方には即時対応し、速やかに申し込み手続きが完了できるよう職員の勤務体制を整え、稼働率の向上に取組んだ。

・ 入所待機上位者の現状確認を適時行い、早期の面接を実施した。

② 管理栄養士

・ 入居者全員に対し、低栄養の予防・改善を図るために栄養ケア計画を作成して定期的に評価・見直しを行った。

・ 看護職員、介護職員との連携により、毎月の体重管理及び毎日の喫食量を把握し、入居者の栄養管理に努めた。
・ 感染症対策委員会と協働して、食中毒の予防についての勉強会を行った。
・ 喫食状況、嗜好確認、食数管理を徹底し廃棄量を減らすよう努めた。
・ 災害時の対応について、日頃から厨房職員と話し合って意思統一を図るとともに、必要量の非常食を確保し管理した。

③ 看護師

・ 入居者の健康管理について、次の内容を実施した。

年1回 … 健康診断(5 月)／新富士病院
週1回 … 嘱託医回診(水曜日)／あうるクリニック駿河ベイ
随時 … 歯科往診(必要時)／片岡歯科医院

・ 一人ひとりの健康状態の把握に努め、必要に応じて個別に受診及び検査等を行った。また、体調急変時にはご家族の同意のもと、嘱託医又は他の医療機関を受診した。
・ 施設での看取りを希望される方に対しては、出来る限り入居者と家族の気持ちに寄り添えるよう、職員間で連携をとりながら対応した。
・ 職員の健康管理について、次の内容を実施した。

年1回 … ストレスチェック、健康診断、夜勤者を対象とした健康診断、
インフルエンザ予防のワクチン接種
新型コロナウイル予防のワクチン接種
毎日 … 当日出勤者の体温、体調のチェック

(8) 委員会活動

① 安全対策委員会(毎月1回)

令和 4 年度における事故報告事例は 117 件で、その内受診を要した事故等により富士市に報告した事例は 7 件であった。事故報告書は介護職員全員が閲覧し、再発防止に努めた。また、同様の事故が発生した場合は再度対応策を検討し、各階のミーティングで周知徹底した。

ヒヤリハット事例について、介護職員が常に確認できるよう掲示板を作成し、提出されたヒヤリハットを掲示した。

② 身体拘束廃止委員会(毎月1回)

身体拘束・スピーチロック廃止についての検討内容を基に、身体拘束廃止の為の内部研修を感染予防の観点から動画視聴研修とした。また、食事、身だしなみ、入浴等の項目別のアンケートにより、虐待や身体拘束に繋がる不適切ケアについて認識を促した。

③　褥瘡予防委員会（隔月1回）

入居者の身体状況に合わせて、体位変換クッションや褥瘡予防マットレスを活用し、入居者様毎に写真を撮り、職員間で統一したケアが行えるようにした。また感染予防の観点から動画視聴による内部研修を行い、褥瘡予防に努めた。

④　感染症対策委員会（隔月1回）

インフルエンザの発生時期に合わせて動画視聴による内部研修を行い、職員の感染予防についての意識強化を図るとともに、マスク着用・手指消毒を徹底するよう指導した。

当日出勤の職員には入館時に健康チェック表の記入を義務付け、ウィルスの侵入防止に努めた。

新型コロナウイルスの感染状況拡大にともない、入居者家族との面会は予約制とした上で透明カーテン越しに行った。また、緊急事態宣言、蔓延防止措置が発令されている間は面会を自粛していただき、感染防止に努めた。

⑤　防災委員会（毎月1回）

各種災害を想定した搬送訓練・救護訓練・AED 研修を実施し、誰もが緊急時の対応ができるよう技術の向上を図った。

⑥　衛生管理委員会（毎月1回）

職員の健康診断の結果を基に多かった症状をテーマに委員会で検討した他、ストレスチェックを実施し自らの体調管理についての意識向上を図った。

⑦　入所判定委員会

近隣地区の民生委員 2 名を含む入所判定委員会を、4月、7月、10 月、1月に開催し、優先入所基準に基づく採点により、入所順位が上位となった待機者について検討し、適正な施設入所に努めた。

令和4年度の新規入居者は 14 名であった。

（9）実施事項

令和４年度年間行事

6月	おやつ作り
7月	七夕
8月	盆供養
9月	敬老祝賀会
10 月	彼岸供養
11 月	焼き芋
12 月	餅つき
1月	お屠蘇配り、書初め
2月	節分
3月	お花見、彼岸供養